

# 令和三年度 第十号 修明同窓会報

— 発行 —  
福島県立

修明高等学校同窓会  
東白川郡棚倉町東中居63  
TEL 0247-33-3214

特集(8~9ページ)

- 恩師が語る…第3回
- 卒業生の思い出と現在の活躍…第3回

同窓会  
QRコード



## 御挨拶



同窓会長  
滝田 国男

同窓会各位には、日頃より本校同窓会に対し御支援御協力を賜り厚く御礼申し上げます。令和2年度総会において、高坂成歩前会長の後任として副会長の私が推挙され、新会長をお引受けすることになりました。もとより各界で御活躍の同窓生が多数おられる中で、私のような若輩ではと戸惑いもありましたが、就任しましたからには、誠心誠意、同窓会や母校の発展のため頑張る所存です。何卒格別なる御支援御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

私は昭和47年東白川農商高校・農林科の入学生です。卒業から47年になります。私が入学した頃は木造校舎で、「養蚕当番」等の伝統ある実習や、温室での「マスカメロン」「マスカット」等先進的な実習があったことが想い出にあります。現在当時の面影は少し残ってはおりませんが、校舎・施設は近代的になり、

校名も「修明」に変わり十年の節目も超え、新たな県南地域の農業系の高校として、その存在が重要視されようとしております。

在校生は、新型コロナウィルスによる様々な影響を受けながらも、精一杯積極的に活動を行い、各分野で素晴らしい成績を残してくれました。勉学面では福島大学等の国立大学に5人、東京農業大学等有名私立大学に12名、短期大学等に29名進学しました。就職率も100%で、地元をはじめ県内外の企業に巣立っていきましました。部活動面では大会が「コロナ禍」で制約された苦難の年でしたが、自転車競技部やホッケー部、野球部などは伝統的にその存在をしっかりと位置づけてくれました。在校生の活躍をしっかりと支えていくことも、同窓会の役割だと受け止めております。

本会活動について少し触れますが、在校生の支援も含めた運営維持の会費徴収の検討、各支部の会員の拡充方法などいくつかの課題が有ります。これらの課題を会員各位から知恵をいただき、少しでも同窓会活動が活性化され、女性や若い世代にも多数参加していただける様な「明るく和やかな同窓会」にしたいと思っ

ています。結びに、母校は令和5年度からの福島県立高等学校再編に間に合うよう、大規模な改修工事を行っております。ハード面・ソフト面でも県南地域に「修明在り」と望まれるように、学校と一体となって頑張っております。今後とも会員・学校・PTA更に関係の皆様方には、前会長同様の御支援と御協力をお願い申し上げます。就任と合わせてのご挨拶と致します。

## 御挨拶



学校長  
郷 清隆

同窓会員の皆様には、常日頃より母校の発展のために格別のご支援を賜り、衷心より感謝申し上げます。昨年度は新型コロナウイルスに翻弄される一年でした。昨年の2月27日に安倍総理より臨時休校の要請があり、本県は3月4日から臨時休校となりました。4月になると通常通り始業式、入学式が行われましたが、マスク着用、体温測定、3密回避、手洗いの励行、部活動の制限など新しい生活様式と言われる学校生活が始まりました。そして再び4月21日から臨時休校となり、結果的に5月いっぱい継続することになりました。1年生はまだ修明高校のリズムが身につく前の臨時休校だったため、とても不安な

日々を送ったことと思います。2、3年生も同様です。しかし生徒達は5月18日から分散登校、6月1日の学校再開からは新しい生活様式をしっかりと守り、感染対策をきちんととってくれ、学校行事なども中止や延期になつたものもありましたが、現状を悲観するだけでなく、今できることを一生懸命取り組んでくれました。野球部の1年生大会優勝、陸上競技部、ソフトテニス部、卓球部県大会出場、ホッケー部東北選抜3位、自転車競技部県大会入賞、各町村の青少年の主張大会出場、税の標語・作文入賞、白河ものづくりキャッチコピー優秀賞、毎日農業記録賞優秀賞、野菜苗やメロン、シクラメン、修明笑店、JGA P追加認証、修明笑店と絵本寄贈など今まで以上の活動を行ってくれました。

今年度は、127名の新入生が本校を選んでくれ、全校生349名でスタートしました。鮫川校については、高校改革前期計画により昨年度から募集停止となり、大変残念ですが、来年3月には最後の卒業生となる14名の生徒が旅立ち、昭和23年東白川農商鮫川分校創立時代より続いた73年の歴史に幕を閉じます。

いつ新型コロナウィルスが終息し、今までのような生活が戻るのかわかりませんが、この困難にくじけることなく生徒達は今後も先輩諸氏を目標に更なる伝統を築き上げていきますので、今後ともご支援、ご協力よろしくお願いいたします。

# 教育環境の整備充実



前事務長 佐藤 安弘

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育環境の整備充実のため御協力をいただき、深く感謝申し上げます。

本校の施設・設備につきましては、校舎、産振施設など、校内各所の老朽化が著しく、設備等の故障や不具合が頻発しておりますが、二度度も施設整備の予算確保に努め、各所の修繕、更新により、生徒の学習環境の改善に努めてまいりました。

令和2年度は、五カ年計画の初年度となる校舎の大規模改造一期工事が、昨年八月に竣工し、北校舎西側内部・外部の全面改修、及び全棟の暖房設備更新工事が終了いたしました。

また、本年一月より、二期工事として、約九ヶ月の工期で、北校舎東側、渡り廊下北側、管理棟東側箇所の内部・外部の全面改修に着手いたしました。

工事期間中は生徒、保護者の皆様には、たいへん御不便をおかけしておりますが、工事の安全確保を図りながら、本校施設の整備・充実に努めてまいりますので、同窓会の皆様におかれましては、引き続き御支援、御協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

なお、令和2年度に実施した工事は次のとおりです。

- ・修明高校大規模改造工事
- （一期）建築・電気・機械
- ・修明高校大規模改造工事
- （二期）建築・電気・機械／現在継続工事中）
- ・修明高校プール機械室等屋根防水等改修工事
- ・修明高校フェンス設置工事
- ・修明高校食品加工棟暖房設備改修工事
- ・修明高校駐車場整備工事

# 教務部より



教務主任 生田目 源徳

同窓会の皆様には、日頃より本校の教育活動にご理解とご支援をいただき、誠にありがとうございます。教務部より本校における教育活動のご報告をさせていただきます。

令和2年度は、新型コロナウイルス感染症拡大防止に時間と労力を費やした一年となりました。4月21日から5月15日まで約1ヶ月間の臨時休校、5月18日から5月29日までの分散登校を余儀なくされ、授業日数の確保が必要となり、1学期を7月末まで延長し学校行事を削減して対応しました。生徒にとっては、楽しみにしていた夏休みや行事の削減ということで失望も大きかったのですが、感染拡大防止のためにやむを得ない判断となりました。

休校期間は図らずしも、オンラインを用いた連絡や学習に拍車をかける形となりました。全校生へのGEMSアカウムの配付、Google Classroomを用いた生徒への連絡など我々教員にとっては新しい利便性の高い手段を学ぶ良い機会となりました。新型コロナウイルスの影響は、生徒募集にも影響を与えました。毎年、夏休みに実施していた中学3年生対象の体験入学が実施できなかったため、9月に学校見学会を3日間に渡って実施しました。

令和2年度の入学人数が103名だったこともあり、危機感を持ちながらの開催となりました。新たな試みとして、中学生だけでなく保護者の方も同伴で校内を見学していただいたことにより、本校の各学科における専門性の高い授業内容や充実した設備への理解を深めていただくことができました。

昨年度は、これまでの方法論や経験では対応しきれない状況でも、学校一丸となって取り組んで行くことで乗り越えることができましたという点で、自信が深まった一年となりました。今年度は、"Your First Choice"を合言葉にこの地域の中学生にとって選択肢の一番目になるよう、なお一層教育活動を充実させて参ります。

最後になりましたが、本校HPにて各学科の紹介動画を公開しております。下のQRコードをスマートフォンで読み取り、ぜひご覧いただき話題にしていた、だければと思います。



# 令和2年度進路概況について



進路指導主事 車田 浩一

本校同窓生の皆様には、常日頃よりご支援ご協力を賜り、感謝申し上げます。生徒は将来の進路実現に向けてしっかりと取り組んでおります。同窓生の皆様には、母校と地域の発展に引き続きご支援下さいますようよろしくお願いをいたします。

## 〈進学〉

令和2年度の3年生は121名で、うち進学者は47名です。3年生全体の39%が進学し、61%が就職しました。進学先の内訳は4年制大学17名、短期大学6名、専門学校24名です。今年度は修明高校最多となる5名の国公立大学に合格者を出すことができました。これも一人一人に目をかけ、丁寧な個別指導を行った結果ではないかと思えます。学科毎では文理科13名、農業科は19名、商業科15名が進学しました。

## 〈就職〉

令和2年度は新型コロナウイルスの影響で昨年に比べ2割求人数が減少しました。また、企業訪問も実施できず、入社試験も例年の1カ月遅れの10月16日からの開始となりました。この厳しい状況にもかかわらず生徒たちは頑張っており、年内には100%の生徒が内定を頂くことができました。本校の就職希望者は74名で、地域別では県内62名、県外12名となっております。これも地元企業をはじめ多くの企業で卒業生が活躍し、本校生徒の就職にも良い影響を与えてくれたからだと思います。生徒は就職に向けて学校生活をしっかりと取り組んでいることはもちろん、先生方の熱心な支援もあり、このような良い結果に繋がりました。

令和 2 年度 卒業生進路状況

学 科	男女	在 籍	進 学			就 職		その他
			大 学	短 大	専 門 等	県 内	県 外	
文 理	男	4	3	0	0	1	0	0
	女	16	2	3	5	3	3	0
生産流通	男	20	0	0	4	16	0	0
	女	11	1	0	2	7	1	0
食品科学	男	9	0	0	2	7	0	0
	女	26	2	2	6	11	5	0
情 報 ビジネス	男	23	9	0	4	10	0	0
	女	12	0	1	1	7	3	0
合 計	男	56	12	0	10	34	0	0
	女	65	5	6	14	28	12	0
	合計	121	17	6	24	62	12	0

令和 2 年度  
卒業生進路概況



令和 2 年度 進学先

【国公立大学】

学 校 名	人数
会津大学	1
岩手県立大学	1
都留文科大学	1
福島大学	2

【私立大学】

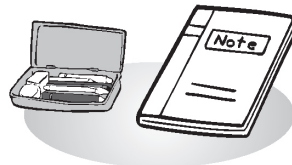
学 校 名	人数
郡山女子大学	2
国際医療福祉大学	1
作新学院大学	1
駿河台大学	1
高千穂大学	1
拓殖大学	2
千葉商科大学	2
東京農業大学	1
常磐大学	1

【国公立短期大学】

学 校 名	人数
山形県立米沢女子短期大学	1

【私立短期大学】

学 校 名	人数
郡山女子大学短期大学部	5



【専修専門学校】

学 校 名	人数
アイ・エフ・シー大学校・栄養専門学校	1
郡山健康科学専門学校	3
郡山ヘアメイクカレッジ	2
国際アート&デザイン大学校	1
国際医療福祉看護大学校	1
国際情報工科自動車大学校	1
国際ビジネス公務員大学校	2
国際ビューティ&フード大学校	2
白河厚生総合病院付属高等看護学院	2
仙台総合ビジネス公務員専門学校	1
東京スクールオブミュージック専門学校渋谷	1
トヨタ東京自動車大学校	1
日本鉄道&スポーツビジネスカレッジ21	1
福島医療専門学校	1
福島県立テクノアカデミー郡山	1
福島県農業総合センター農業短期大学校	3

令和 2 年度 就職先

〈 県 内 〉

事 業 所 名	人数
(株)天乃屋福島工場	1
(株)エースバック矢吹工場	1
S M C (株)矢祭工場 (技能職)	2
S M C (株)矢祭工場 (製造職)	2
(株)オーゼキ福島工場 (機械加工)	1
(株)オーゼキ福島工場 (製造オペレーター)	1
(株)キャスト	1
シーピー関東(株) (機械オペレーター)	2
シーピー関東(株) (製品検査・箱詰め)	2
(株) J A 斎苑やすらぎの社	1
自衛隊 (一般曹候補生)	1
自衛隊 (候補生)	1
社会福祉法人清峰会特別養護老人ホーム小峰苑	1
白河オリンパス(株)	1
白河日東工器(株)	1
シンエツエスアイセミコン(株)白河事業所	2
信越化学工業(株)	2
診療化成(株)	1
住友ゴム工業(株)白河工場	1
第一精機(株)浅川工場 (事務)	1
第一精機(株)浅川工場 (製造)	1
(株)台和	2
(株)D N P テクノバック	2
(株)ディ. エム. シー白河工場	2
天馬(株)新白河工場	6
(株)東北たまがわ	3
東北ポール(株)白河工場	1

事 業 所 名	人数
東洋シャフト(株)福島棚倉工場	1
日本果実加工(株)白河工場	1
日本機械技術(株)白河工場	1
日本精工(株)福島工場	3
日本パッキング工業(株)白河製作所	2
埴町役場	1
バルサン(株)	1
日立オートモティブシステムズハイキャスト(株)	1
富士工業(株)白河事業所	1
藤田建設工業(株)	1
(株)三谷精密	1
ミドリ浅川衣料(株)	1
(株)ヤマシロ福島工場	1
ユニ・チャームプロダクツ(株)	2
(株)リンペイ	1

〈 県 外 〉

事 業 所 名	人数
芦野温泉(株)	1
大阪シーリング印刷(株)	2
共立印刷(株)	1
(株)コモディイイダ	1
ニプロファーマ(株)埼玉工場	2
(株)ペアーメディック	1
山崎製パン(株)	2
リスカ(株)	2

◆◆同窓会長賞を受賞して◆◆



情報ビジネス科

八幡 和佳

私が、同窓会長賞を受賞することができたのは、クラス全体で全商検定取得に向けて一致団結したことと先生方の協力が大きな力になったと考えています。

私が、取得した6科目の中で特に難しかったのが簿記実務検定です。私は簿記が苦手で、授業でもあまりついていけませんでしたが、そのため、検定問題を解き始めたところは、あまり問題も解くことができませんでした。しかし、クラス全体で検定取得に向け一致団結し、分らない問題を教え合ったり苦手な問題を重点的に先生に教えてもらったりするなどの対策を行い、少しずつ問題が解けるようになり簿記実務検定に合格することができました。

また、これら検定の中で、自ら計画を立て取得したのが情報処理検定プログラミング部門です。私が、情報処理検定プログラミング部門を取得した2年次では、プログラミングは履修科目

に入っていなかったため自分で学習を進めました。はじめは、2級の問題から解き始め、問題に慣れてきたら1級の問題を解いていきました。プログラミングは初めて学習する分野のため、慣れるまでは時間が掛かりましたが、仕組みが分かると、問題を解くのが楽しくなり、自分でプログラムを組んだりすることで理解を深めていきました。分からない問題があったときには、先生に聞くなどして解けるようにしていきました。取得することができました。

6冠を取得するまでには、苦手分野やなかなか点数が伸びない分野の検定が多くあり、とても苦勞をしました。しかし、クラス全体で検定取得に一致団結し、苦手分野を克服することで、これら検定に関わるスキルや知識、仲間と協力する力を身に付けることができました。6冠を取得することは仲間同士で協力することが必要不可欠だったと考えています。この同窓会長賞は仲間同士や先生方の協力が無ければ取得できなかったと思います。

受賞者氏名	クラス	主な活動状況
八幡 和佳	情報ビジネス科	基本情報処理技術者試験合格(平成30年度) 全商検定1級合格6種目以上

人材育成事業

令和2年度より新たな取り組みとして、各界の著名人による講演会や技術講習などの人材育成事業を実施することとなりました。

文理科

10月8日(木)、東進衛星予備校校長による「進路実現に向けての効果的な学習法」について講演会が開催されました。

生徒たちは、普段の家庭学習の効果的な取り組み方法についてメモを取るなど、真剣に耳を傾け、とても充実した講演会でした。

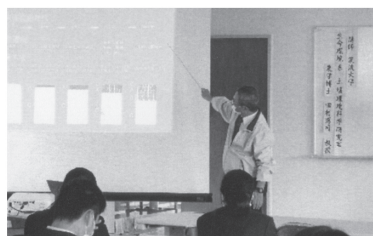


生産流通科

10月14日(水)、SDGsに関する取り組みの一環として、持続可能な農業を実践していくために筑波大学教授の田村憲司先生をお迎えしました。

土壌分析方法の実態把握や土壌環境を取り巻く現状について、午前中に講義をいただき、午後から実際に圃場に出て土壌分析などの演習を行いました。

生徒たちにとって、農業における「土」の大切さを改めて考える機会となりました。



## 県文化振興財団顕彰

同窓会前副会長 吉田利昭氏



本会前副会長の吉田利昭氏が「鳥内史跡」の保全や石川町内外に存在する石造物と製作者の調査および、地域の学術研究発展と文化財保護に貢献した功績により、令和2年度の県文化振興財団顕彰に選ばれました。1月28日に福島市のザ・セレクトン福島で表彰式が行われました。

今回、功績の一部である狛犬の石造物の一部について寄稿いただきました。

## 県南地方の狛犬について

狛犬が日本に伝わったのは6世紀頃、仏教に伴って中国から伝来したと云われる。平安の清涼殿には、すだれ状の御簾の重しに使われ、獅子型のもを左に、口を閉じ1本の角をもつ狛犬を右に置いた。後年邪気を払い神社等を守り、奉納者の願いを叶えてくれるものと、奉納建立された。

県南地方の狛犬が、県内外の狛犬ファンから注目されるようになってから15~16年位になる。

要因の一つは高い石工技術を持つ「ブランド高遠石工」が浅川町福貴作に土着し、その技術が伝承されたことにある。高遠藩（長野県伊那市高遠町）は、元禄4年（1691）内藤清枚（きよかず）が石高3万3千石で藩主となったが、前年の検地により6千石が天領となり、厳しい財政事情となった。その対応策の一つとして、次三男や小農家に石工の技術を習得させ、全国に旅稼ぎと称し出稼ぎを奨励、稼ぎ高により税金を徴収した。

棚倉町蓮家寺に高遠石工作「常念佛一萬日回向塔」石塔巧人信州高遠的場村大石彦右衛門等の4基が建立されている。

旅稼ぎ石工の小松利平は、天保10年前後浅川町福貴作に土着し、工房を構え石工稼業を始める。利平作と思われる作品は5・6件あるが、戸籍上の名利平と刻銘した作品は見つかっていない。

二つ目は、利平に弟子入りした高原寅吉と、またその弟子の小林和平の存在である。寅吉は弘化元年現石川町山形、高原武極の長男として生まれ、近くの小松工房に弟子入りし、厳しい修業の末慶応2年利平の長男彦蔵と養子縁組し、小松寅吉布孝（のぶたか）を名のる。明治25年48歳の時中島村川原田「川田神社」に自作の狛犬を奉納する。台石から一つ石で彫り上げ空を翔ぶ様な風を感じさせるその構図は、独創性に富み高い芸術性をもった、全国何処にも無いスタイルを豪快な鑿使いにて造りだし、飛翔狛犬と呼ばれている。その他寅吉は、白河市東鹿嶋神社、鮫川村熊野神社、須賀川市牡丹園内等に狛犬・その他多数の石造物を残している。大正4年72歳没。

小林和平は、現石川町沢井打出に明治14年悟三郎の二男として生まれ、10歳前後に寅吉に弟子入りする。和平の狛犬は、昭和5年親方と同じ48歳の時石川町石都々古別神社に、続いて須賀川市保土原神社・古殿町八幡神社・中島村羽黒神社・棚倉町金鑄神社と5年連続で狛犬を彫刻するも、その構図に同じものは無い。親方寅吉の豪快な鑿使いに師事するも、和平のそれは繊細な彫刻技術をもって、子獅子等には見る人に「あどけなさ」を感じさせる表情を作り出している。その技量は他の石工には見られない、高度な鑿使いによる表現力を身に付けている。和平語録の一つに「俺の親方は奥州一の彫刻師だ、俺はその一番弟子だ」と和平に弟子入りした孫の登や和喜に語っている。昭和41年86歳没

高遠から伝承された、高い石工技術は寅吉・和平の時代で終わりその技術は途絶えた。現存する石造物は貴重な文化財である。



川田神社 月と狛犬



川田神社 阿像狛犬

支 部 だ よ り

◇修明高校同窓会浅川支部

支部長 須藤 福男



浅川支部役員構成については、旧棚倉高、旧農商高で、顧問、事務局、方部役員、全員で三十六名で構成しています。

年一回の浅川支部総会としての集まりです。総会の出欠は往復ハガキで連絡をとり、事務局役員同士はスマホLINEのグループで日常の出来事などを含めて日頃から連絡を取り合っています。

学校から同窓会報が届いてから浅川支部総会を開き、方部役員に会報の配布依頼と懇親会を行います。同窓会長、校長先生に出席を頂き、挨拶をしてもらいます。修明高校の現状など説明してもらい、自分たちの当時の様子を重ね合わせながら楽しく聞き入り、絆が深まる気がします。

同窓会浅川支部の活動は支部役員の協力のもと年一回の総会で四〇〇部の会報の配布のみです。今どき会報を手渡しで配布と思われるかもしれませんが、このアナログな活動が見えないところでの学校支援や浅川支部会員の絆になると思います。令和二年は新型コロナウイルスの影響で開きませんでした。棚高と農商が統合して学科の幅も広がり大学進学、農学と加工、ICT・簿記など、魅力的な学校に進化したと思います。ゆえに、他校には見られない、修明高校独自の同窓会各支部の一層の結束が期待されます。

少子化時代で学校再編が進められているさなか、同窓会と地域の支援が生徒数の確保や充実した教育環境向上など、県南地方の重要な高校として更なる発展につながるものと思います。

◇修明高校同窓会石川支部

支部長 角田 忍



早いもので県立高校再編計画に基づき

農商高と棚倉高が統合され早や十二年が経過しました。当然各支部の同窓会も統合して活動をする事が望ましいという思いから、石川支部に於てもいち早く、前本会副会長の吉田利昭氏のお骨折りで両校の役員の出席のもと修明高石川支部が平成二十四年二月に総会を開催し、旧東白農商高、旧棚倉高の同窓会の再編統合が成立、会員数約三百七十名で修明高同窓会として活動を続けております。私達の時代は町村の合併はしたものの学校は統合されず石川中、中谷中、山橋中、沢田中、野木沢中、母畑中、とそれぞれの中学校より東白農商高、棚倉高に進学し卒業後石川町に就職し、同窓会に入会して会員として活躍して頂くのですが、中々仲間意識が薄く？それでも年一回の役員総会を開催し旧交を暖めあって、近況報告や母校の話しに杯をかたむけ、夜遅くまで語り合いをするのが楽しみです。ただ若い人の参加が少なくいかに参加して頂く事が今後の課題です。また、残念な事は、昨今の社会情勢によりこの石川地方から毎年修明高に進学し一次産業の後継者として家業に就く子供達が一桁台になってしまっている事が大変気になります。一次産業の明るい状態が早く来てくれる事を望みます。

10周年記念式典に際して 感動と感謝

関東支部長 鈴木忠夫



修明高等学校10周年記念式典に関東支部として同窓会本部より特別参加の許可を得て、私達支部役員17名が参加させていたいただきました。本校記念式典の出席にあたり、式典会場の入場は大変な緊張をしました。

第一部の記念式典は厳かに且つ、格式高い式典が挙行され、同窓会長、学校長をはじめ、各位重鎮のご挨拶を拝聴して大きく頷き、大変感激致しました。式典中、時折、私達のはるか昔の学校当時の入学式や学校祭、卒業式などを思い出し、一瞬、懐かしく甦り、嬉しく思いました。

第二部の講演会として本校の応援歌を聴き、素敵なお演奏に感銘を受けました。演奏者と生徒さんが一緒になって演出を盛り上げていただき爽やかさを感じ思わず涙ぐみ、身震いする思いで、感動いたしました。

台風19号のゲリラ豪雨の影響による大きな洪水災害で第三部の懇親会は残念ではありますが止む無く中止となりました。私達支部はいろいろな方にお会い出来て、皆様と親睦や交流を図ることを大変楽しみに伺いました。このまま解散するには名残惜しく思い、急遽、関東支部だけで慎ましく会食をしたい旨を新富家さんにお願したら快く承諾していただき、飲食の運びとなり貴重な体験と反省を兼ねて本校の雰囲気も熱く語って大いに話が弾み大変有意義な一時を過ごす事が出来ました。また何時しか皆様にお会いできる日を楽しみにルネサンス棚倉の宿にて一夜の思いを寄せて過ごしました。

翌日は秋晴れの下で支部一行は馬場都々古別神社、山本不動尊、更に八槻都々古別神社を参拝して今後の本校が益々発展する事と皆さんの健康を祈願して今回の「10周年記念」を祝って気持ち晴々、心地良く、幕を閉じて一路東京へ帰京となりました。

同窓会会長をはじめ、本部役員各位、そして学校長と教職員と本部事務局の皆様は大変お世話になりました。有難う御座いました。

少し離れた関東支部では御座いますが、これからも本部と情報共有して微力ながらも本校に貢献することが出来たら幸いです。と考えております。

どうぞ今後共ご指導とご鞭撻の程を宜しくお願い申し上げます。支部一同、感謝の気持ちと衷心より御礼を申し上げます。

## 令和 2 年度 同窓会歳入歳出決算書

《自 令和 2 年 4 月 1 日 至 令和 3 年 3 月 31 日》

収入の部			
科目	予算額(A)	決算額(B)	比較増減(B-A)
入会金	1,128,000	1,128,000	0
寄付金雑収入	0	0	0
雑収入	1,031	12	▲ 1,019
積立繰入金	0	0	0
繰越金	1,595,969	1,595,969	0
合計	2,725,000	2,723,981	▲ 1,019

支出の部					
科目	当初予算額	流用額	予算現額(A)	決算額(B)	予算残額(A-B)
会議費	50,000	0	50,000	3,079	46,921
事務費	120,000	0	120,000	49,475	70,525
事業費	1,050,000	▲505,000	545,000	541,967	3,033
負担金	100,000	0	100,000	0	100,000
慶弔費	60,000	0	60,000	0	60,000
旅費	150,000	0	150,000	200	149,800
支部助成金	100,000	0	100,000	0	100,000
人材育成費	100,000	0	100,000	40,000	60,000
予備費	995,000	505,000	1,500,000	1,500,000	0
合計	2,725,000	0	2,725,000	2,134,721	590,279

収入決算額 2,723,981 円  
 支出決算額 2,134,721 円  
 差引残額 589,260 円

## 令和 2 年度 会 務 報 告

2年4月9日	第12回入学式	
4月20日	会計監査	
5月11日	第1回役員会(総会について等)	延期
5月22日	第1回選手壮行会激励金贈呈式	中止
5月28日 ~29日	福島県農業高等学校同窓連盟総会 当番校 修明高等学校 参加者 県内農業高校同窓連盟関係者 場 所 ルネサンス棚倉	中止
6月12日	第1回役員会(総会について等)	
6月30日	令和2年度定期総会 総会(新富家 16:00~) 懇親会(新富家)	中止
7月1日	第2回選手壮行会激励金贈呈式	中止
9月4日	福島県農業高等学校同窓連盟陳情及び会長会	
10月17日	第12回創立記念日	
3年2月4日	「同窓会長賞」選考委員会(役員会)	
2月26日	「同窓会長賞」贈呈式(受賞者1名) 入会式(本校121名・鮫川校20名) 卒業記念品贈呈(卒業証書入れホルダー)	
3月1日	第12回卒業式	



関東支部 ルネサンス棚倉にて



関東支部 新富家にて



石川支部総会



関東支部 食加棟前にて



浅川支部総会

● 恩師が語る 第3回

懐かしき農商時代を顧みて



福島陸上競技協会顧問  
安藤 敬男

修明高校となり早くも十三年を迎えられ、職員、生徒の皆さんの弛まぬ努力により益々発展されておられることに心より敬意を表し、お祝申し上げます。

この度、同窓会より寄稿の依頼があり、半世紀前在職した農商時代を思い起こし一筆したためてみました。

私が農商高校に勤務したのは、昭和三十七年から十年の永きにわたりお世話になりました。高度経済成長の真つ只中で日本は一番元気のいい時代でした。県内実業系のなかでも古い歴史を持つ本校の火の出るような勢いで発展した時代をこの目でみてきました。当初は農林科、商業科とまさに頭文字をとった校名であったが、時代の進展に伴い畜産科、家政科、園芸科と増設され、一時は自動車整備の産業科まで設置され千人を越す大所帯にふくれ上がった勢いのある名実共に充実発展した実業校の時代でした。

学校行事として春のマラソン、秋のクラス対抗駅伝が有名でしたが、女子の駅伝を実施していたことは驚きました。県内どこの学校を探しても、当時女子の駅伝は農商だけの体育行事でした。私は体育の教員でしたが、女子の駅伝は他校に見られぬ独特のもので、人一倍駅伝に関心をもつ私にとって農商の女子教育の在り方に大きなインパクトを受けました。先見の明をもった農商教育方針に惚れました。

当時は運動場が猫の額のような小さなものでした。やがて学校規模は農林、畜産、園芸、商業、家政、産業と年ごとに増大する学年八クラスの生徒を収容する校舎の整備もさることながら体育授業、クラブ活動に対応できる施設が乏しく困難を来しました。

同窓会の方々の懸命な努力で運動場整備のための用地取得がなされ、現在の立派なグラウンドができました。体育の授業のなかで石拾いや地ならし、ローラーかけなど生徒とともに汗を流したことを覚えています。二年かけて広い運動場が完成し、昭和四十三年に創立六十周年記念式典を新しくなったグラウンドで盛大に行われました。なぜ屋外でと思われるが、体育館では狭く身動きとれず、他校には例のない屋外式場で実施したという歴史的な出来事でした。記念行事の一環としてオリンピックク体操選手ら五人を呼んで体操の実演会を実施したことも懐かしい思い出です。

また昭和四十二年頃、鈴木健三郎校長の肝いりで農家の人手不足解消のため、地域の援農作業を学校あげてやっと思いがあります。コンバインの普及していない時代、多忙な稲刈り時期に各分部に分かれ田圃で汗を流す生徒たちの姿を思い出します。ボランティア活動の先駆けでした。

農商には個性豊かな先生が沢山あり、日夜にわたりご指導いただき育てていただいたものです。

八十半ばを超えた年寄りには農商でのいろいろな出来事を懐かしく思い出している昨今です。時代は平成、令和と変わり半世紀前の農商の発展ぶりを回顧してみました。修明高校の限りない発展を祈っております。

都々古の杜に見守られて



県バレーボール協会長  
伊藤 隆司

棚倉高校に着任して驚いたのは、広い第一グラウンドにバレーボールコートを用意すること。小さな町に高校が2校もあり、それも対抗戦を開催すること自体が不思議でした。その後体育科同志のスポーツや趣味の大会等でお付き合いさせていただいたのは良い思い出です。

棚倉には十一年間お世話になり、三度の担任も味わうことができました。若気の至り、後悔ばかりの二十・三十歳代でしたが卒業生達が還暦を過ぎつつある今、東日本大震災や台風被害においても必ず連絡をいただきありがたく思っています。

女子バレーボール顧問として赴任しましたが、アウトコートでの練習しか経験のない選手を如何にしたならば強くなるのか、ばかりを考えていました。東白地区第四位(上位に県立石川、学芸石川、東白農商、下位に埴工、鮫川)を脱皮するためにあらゆる方法を駆使しました。春高バレー県大会出場(県新人戦ベスト4)を目標に県内、外の強豪校との練習試合(年間五〇〇五五〇セットを設定)、春、夏、冬季の合宿・遠征等では保護者、町ぐるみで応援していただいたことが春高県予選、NHK杯東北大会出場につながったのではないかと考えます。現在では卒業生達も各方面で活躍し、新聞、雑誌等で拝見するのを楽しみにしております。

残念ながら昭和六十二年から保健体育行政に転じ、その後は担任をすることもなく平成二十二年春に定年を迎えました。今でも白河市ひがし「きつねうち温泉」で当時の教職員、卒業生との再会を楽しみに続けております。

最後に、都々古の杜に見守られた棚倉町の益々のご繁栄と修明高校生徒諸君のご活躍、同窓会のご発展を祈念申し上げ結びといたします。





卒業生の思い出と現在の活躍 第3回

修明高等学校同窓会報発刊に寄せて

株式会社ジェノバ 顧問 細谷 素之



私は埴町の山奥、農家の長男として生まれ、お決まりのように農商に進学しました。学生生活では多くの失敗が思い起こされますが、仲間に恵まれ楽しかったと思います。

あつという間に三年が過ぎ、進路を決める時期が来るわけですが、農業で生活してゆくには実家の規模では難しいと思い、力不足もあって、何かもつと極めるものがあるのではないかと測量分野の専門学校に進むことになりました。測量の大会で失敗し、仲間迷惑をかけたことと圃場整備事業の測量作業経験がその道を極めようと考えた理由でした。就職先は測量最大手の上場会社です。測量作業の一番の思い出は、サウジアラビア・イラク国境画定作業、ヨルダン・クウェイト間全長七百五十キロメートルの高難度測量です。

その後三十歳で営業職に引つ張り出され、バブル期の、まさに企業戦士として刺激的な時期を過ごし、会社の出資先であるGNSS衛星測量の補正情報を提供する会社に出向を経て転職しました。ここでは、高精度でリアルタイムにcm級の精度を要求するお客様が対象です。測量、情報化施工、スマート農業、ドローン、自動運転など多種多様です。

3. 11直前に代表取締役役に就任し、一昨年末に退任、現在は経営や技術的な助言、ASEANの国々に補正情報配信技術の移転などが仕事の中心です。測量技術者として、地球儀に国境線を描けたこと、国境画定測量作業経験が一番の誇りです。

目指す将来はいろいろですが、誰にでも失敗も挫折もあります。高い目標を定め、あきらめず、誠実に努力して前に向かう気持ちを強く持つこと、そんな過程で壁にぶつかり押しつぶされそうになった時、「精一杯頑張ったのだから、ま、いいか」と深呼吸して一息つき、逃げ場を持つことも大事だと思います。

在宅勤務でテレワーク一年の自宅にて

令和三年二月二十一日

東白川農商高等学校農林科昭和四十六年三月卒業（六十八才）



警察を退職するにあたって

前郡山北警察署長 芳賀 昌則



です。

私が警察官になったきっかけは、高校三年生の時、政治経済の宗像治先生から言われた「お前は警察官に向いている」という一言でした。宗像先生は、磐城高校で夏の甲子園準優勝を経験しており、当時野球部の監督でした。その先生からの一言は大きな説得力があり、警察官を志すことにしたのです。先生の一言がなければ、警察官にはなっていないかもしれません。人生を決める大きな一言でしたし、人の本質を見抜く目があったと思います。

警察の仕事は、苦しいことや辛い事も多い職業ですが、私は幸いにも警察署長として勤務することができました。これは、高校三年間やり遂げた陸上競技の賜です。陸上部男子の監督は、県南陸協会長や県陸協副会長を歴任した御代田喜友先生でした。

在職中の数々の困難に耐え、全うできたのは、苦しさを乗り越えれば達成感や充実感を得ることができていることを陸上競技の練習を通して、御代田先生から教えていただいたからだに感謝しております。

宗像先生、御代田先生とは、今でもゴルフなどで交流しております。在職中は嬉しい出会いもありました。郡山北署では、田崎常之先生のお孫さんと一緒に勤務することができ、先生のダイナミックな水泳を思い出しました。

高校時代の素晴らしい先生方との出会いのおかげで実りある警察人生を歩めたことに感謝しております。

最後になりましたが、修明高等学校同窓会の益々のご発展と在校生の皆さんのご活躍をご祈念いたします。

榎倉高等学校普通科

昭和五十四年三月卒業



『出会い』



白河地方広域消防本部 消防長 安部 達郎

私は昭52年4月に農林科生として東白川農商高校に入学しました。あれから44年が経過し、今年還暦を迎えます。

入学当時は振り返ってみますと、学校は校舎改築の真最中で、私達が入る南側校舎は完成しておりましたが、それ以外は建設中で職員室、体育館も旧校舎のままでした。

入学式の日、正面玄関前で記念撮影をした光景が今でも思い出されます。整列している地面は砂利のまま、私達は真新しい学生服に学生帽、緊張感が漂う初々しさがありました。そんな高校時代、社会の出来事は、巨人軍の王貞治選手がホームラン世界記録更新、キャンディーズの普通の女の子に戻りたい引退宣言などがありました。

高校生活では、2年生の時に福島県でインターハイが開催され、県南地方では自転車競技が実施されました。我が校の自転車部は素晴らしい選手が揃っており、好成績を収めることができました。私達は裏方として、早朝から箒を持ち競技コースの道路清掃を丹念に行った記憶があります。

3年生の時には、当時の松平県知事ご臨席のもと、秋晴れのグラウンドで盛大に創立70周年記念式典が開催されました。大勢のご来賓に伝統を肌身で感じました。

授業は座学と実習があり、座学は成長盛りの私達には、睡魔と空腹の戦いでもありました。幸い実習の関係で、午前中3時間の授業を挟んで11時30分に昼食になっていたのがありがたかったです。実習はバスに乗って杜川農場、広い農場で作業するのは気分最高でした。実習を教えていただいた先生方も、私達に年が近かったので大変話し易く、技術談義で盛り上がりました。秋には収穫祭があり、自分達で豚汁や焼き肉を作り、互いに競争しながら腹一杯食べたのを覚えています。

高校では多くの出会いがありました。同級生、先輩、後輩そして先生。今では気軽に声を掛け合える頼もしい皆様です。ここで学び多くの仲間が出来たことは自分の人生にとって大きな財産になりました。中でも私達とそんなに年が離れていない担任の小沢義喜先生には強烈な印象があります。

先生が初めて教室に入ってきた時の印象は、体はそんなに大きくないと思いましたが、声の大きさと体から発せられる威圧感が半端なくバリバリの体育会系で、「凄い先生が担任になっ

たなあ」と思ったのを今でも忘れません。会津出身の先生は「ならぬことはならぬものです」を地で行く先生で、元気のいい私達のクラスも、幾度となく軌道修正を受けながらも何とか脱線することなく、おかげさまで無事卒業することができました。

これも先生のお陰と感謝いたしております。この指導を受けた同じクラスにいた郷君が今、修明高校の校長先生。というの何かの縁かと思えます。私はと申しますと卒業後、小沢先生と同じ学校に進学、研究室も同じく入室し日夜、実験に追われる日々を送ってまいりました。そんな中、実験中不注意から事故を起こしまして、救急車で大学病院へ運ばれ入院するという体験をいたしました。救急隊員、看護師、医師のテキパキとした対応に救われ、お陰様で後遺症もなく元気に過ごしております。これも何かの縁で現在、私は消防官として勤務しております。そんな私から皆様へこの場をお借りいたしまして消防からのPRをさせていただきます。ぜひ、ご自宅には住宅用火災警報器を設置して下さい。大切な命を守ってくれる強い味方です。最後に在校生の皆さん、人生は長いのです。これから多くの人の出会いが待っています。周りにいるすべての人が先生です。皆さんには若さがあります。希望と夢を胸に大いに挑戦してください。必ず道は開けます。

東白川農商高等学校農林科昭和五十五年三月卒業

令和2年度末 人事異動

■退職・転出者

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 退職理由, 転出先. Lists staff departures including teachers and administrative staff.

■転入者

Table with 4 columns: 職名, 氏名, 前任校, 転入理由. Lists staff arrivals from other schools.

編集後記

創立10周年記念式典も無事円成（令和元年10月19日）致しました。御支援ありがとうございました。

令和2年6月30日 新型コロナウイルス禍中 役員改選のために定期総会を開催いたし、新会長に滝田国男氏を選出、新体制の船出となりました。コロナ感染防止のため、学校行事（入学式・卒業式等）への参加は自粛となりましたが、同窓会の諸事業はしっかり活動、継続しております。自粛とは・・自ら進んで行動や態度を慎むこととあります。自らの命を守ることは、人の命を守ることに、一人ひとりがよき智慧を働かせ感染を防ぎましょう。

同窓会副会長 菅原 海淳